

令和5年度第2回岡山市総合教育会議

日 時：令和5年11月21日（火）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

- ・不登校児童生徒の支援のための取組

3 閉 会

不登校児童生徒の支援のための取組

(第2期教育大綱)

めざす子どもの姿: 自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

特に「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」を育む基礎としての新規不登校児童生徒の減少について

【目標】 新規不登校児童生徒(小・中の合計)の出現率0.47%以下

○第1期教育大綱の取組から継続していくもの

- 各学校での研修会や個々の状況を基にしたケース会議の実施
- 各学校での家庭訪問(欠席連続3日)や計画的な支援(不登校が理由の年間欠席10日以上)による組織的・個別的な取組の充実

○第2期教育大綱目標達成のため、新たな視点で取り組んでいくもの

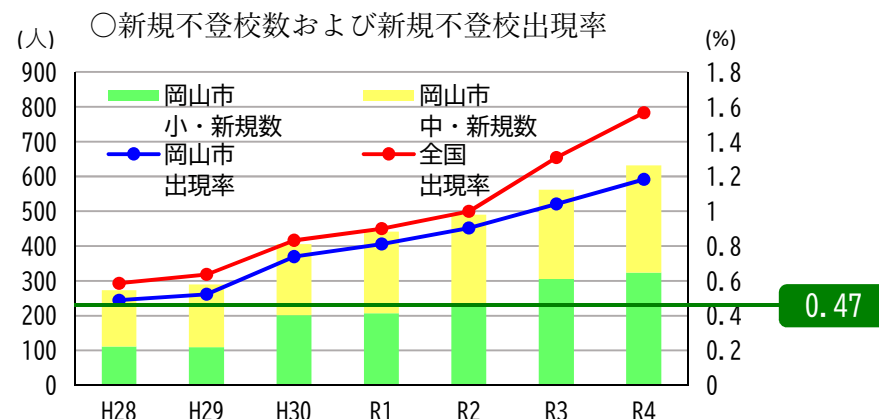
- 関係機関と連携して、不登校の取組強化に向けた学校への指導助言や支援の充実を図る。
- 岡山大学との連携・協働体制の強化(R5～)

現状 (文部科学省: 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より)

小学校	新規不登校児童数	新規出現率
R2	234	0.63%
R3	306	0.84%
R4	324	0.89%

中学校	新規不登校生徒数	新規出現率
R2	256	1.48%
R3	256	1.48%
R4	308	1.80%

小・中 合算	岡山市		全国
	新規不登校児童生徒数	新規出現率	新規出現率
R2	490	0.90%	1.00%
R3	562	1.04%	1.31%
R4	632	1.18%	1.57%



目標は未達成

●新規不登校出現率(%) = 新規不登校児童(生徒)数 / 全児童(生徒)数 × 100

○学年別新規不登校児童生徒数

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6
R2	16	25	51	33	43	66
R3	33	41	34	57	70	71
R4	35	40	43	53	82	71

年度	中1	中2	中3
R2	113	81	62
R3	88	106	62
R4	116	120	72

○さらに充実させる取組

【教育委員会】

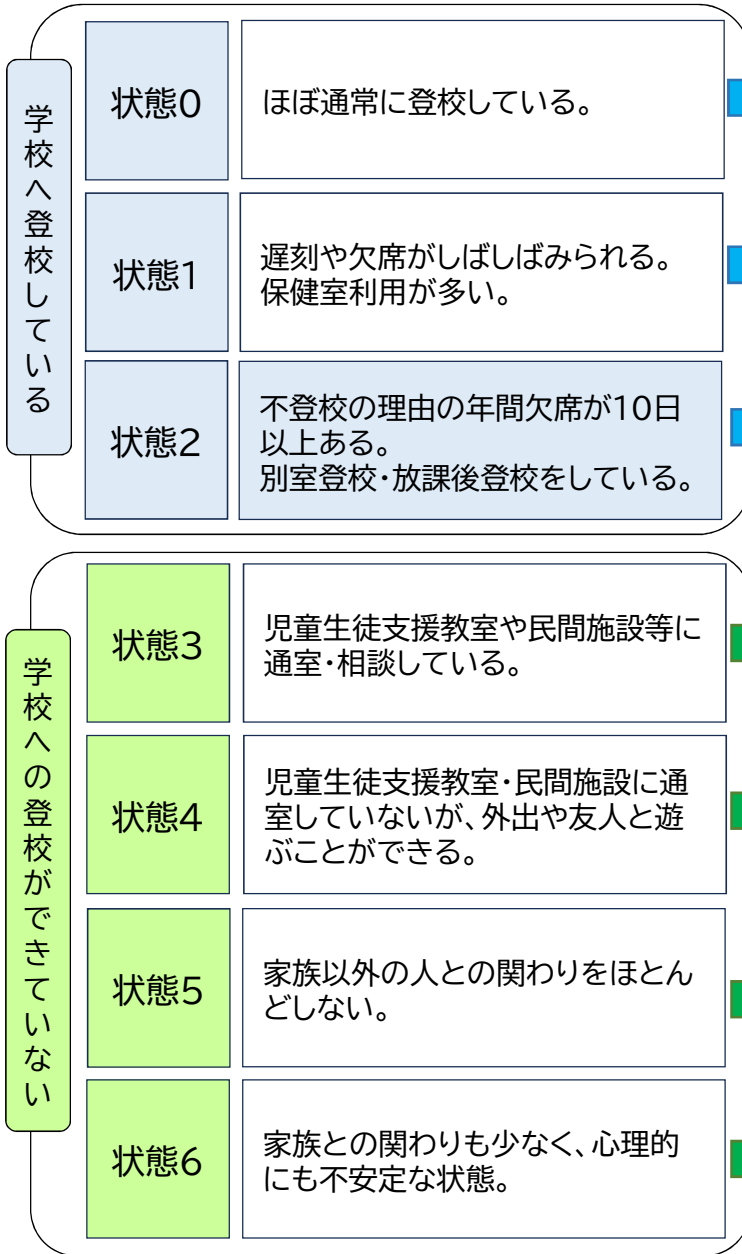
- 不登校支援の在り方を調査研究(R5・6)するため、校内の別室を活用した校内支援教室を設置する。

【学校】

- 多面的に的確な児童生徒理解を行い、児童生徒が他者の良さを認め合える学級集団づくりを進めるため、質問紙調査等を活用する。
- 授業配信や教育相談の支援の充実を図るため、ICTを活用する。

不登校児童生徒の支援のための取組 ～児童生徒の状態に応じた支援について～

◇ 児童生徒の状態による見立て



◇ 学校の対応

不登校…何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること。

居場所づくり・絆づくりの取組の実施（日々の取組を「丁寧」に！）

- ・学習支援 ・集団づくり ・児童生徒の状態把握(ASSESSの活用等)
- ・悩みごとを気軽に相談できる信頼関係づくり ・教育相談 ・トラブルの早期対応
- ・過去の欠席状況等の確認 ・小中学校間や就学前の機関との情報共有 等

原則、**連続3日欠席した場合は家庭訪問**を実施
 本人の困り感をつかむ教育相談の実施
 学校内での情報共有と見守りを実施

重要!!

学級での絆づくりを進める。
困り感への支援をする。
保護者との連携を図る。

重要!! 支援計画の作成

児童生徒の状態、本人・保護者の意向等を確認し、長期的な見通しをもとに、短期的な目標と、そのための具体的な手立てを考える。

支援計画の活用

支援計画をもとに保護者と連携しながら、学校全体で支援に取り組む。

支援計画の見直し

支援検討会議で支援状況を確認し、定期的に支援計画の見直しを行う。

ケース会議やネットワーク会議の開催

- ・スクールカウンセラー ・養護教諭
- ・不登校児童生徒支援員
- ・特別支援教育コーディネーター
- ・子ども相談主事 ・いじめ専門相談員
- ・医療や福祉などの関係機関

※専門的な意見をもとにした検討は効果的です。

定期的な家庭訪問・施設訪問による関係づくり

本人・保護者と相談しながら状態に応じた支援を行う。

社会的自立に向けた支援

- 別室登校や放課後登校を促す。
- 児童生徒支援教室等の利用を検討する。
- 端末を利用した学習支援を行う。
- 訪問相談を利用する。
- 医療機関・専門機関との関わりを打診する。

※様々な方法を組み合わせる等、柔軟な対応を検討する。

不登校児童生徒の支援のための取組

～欠席日数別の主な取組～

【主な取組】

●不登校児童生徒支援員

※登校時の付き添いや学習活動に寄り添う。
(主に小学校)

●不登校児童生徒支援員

※別室登校した児童生徒に対する学習支援・
相談支援

●校内支援教室調査研究

※別室教室における不登校対策に係る取組の
調査研究

報告①

●教育相談室

※不登校等に関する悩み等に電話相談や面接
相談
※「ふれあい親の会」の実施

報告②

●児童生徒支援教室

※学習活動や体験活動を通して、自立に向けた
指導・支援

●アウトリーチによる相談支援

※既存施設（公民館等）で対面で支援

●訪問相談員

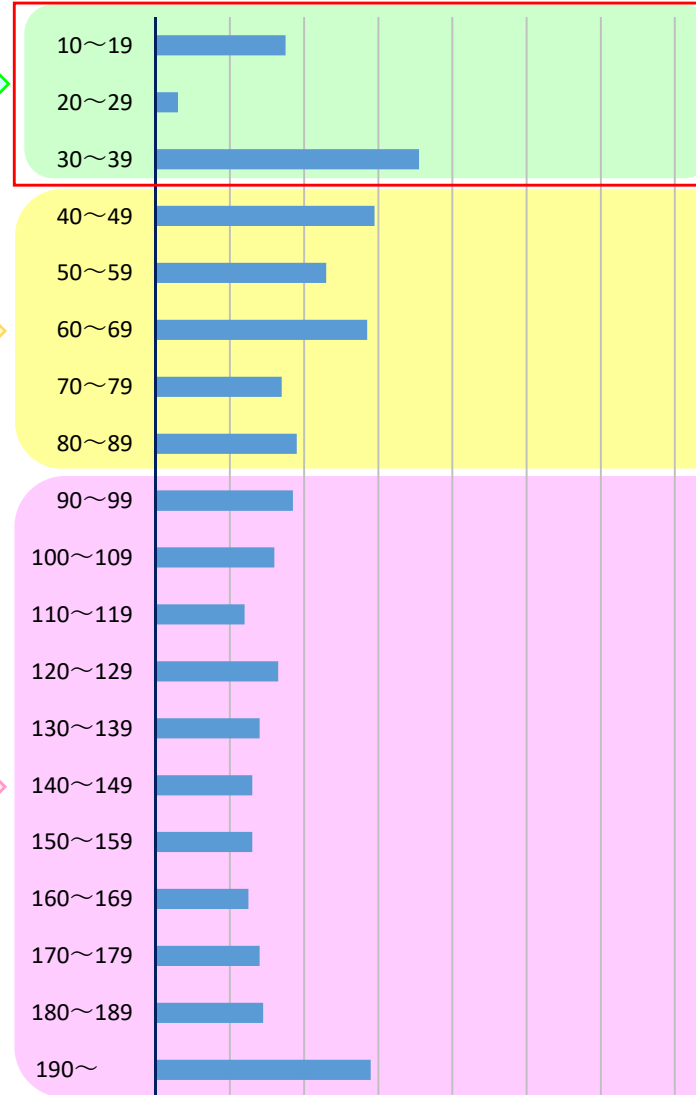
※引きこもっている児童生徒に対して家庭訪
問で支援

●スクールカウンセラー

※児童生徒・保護者のカウンセリング

【小学校】R4年度 不登校児童数

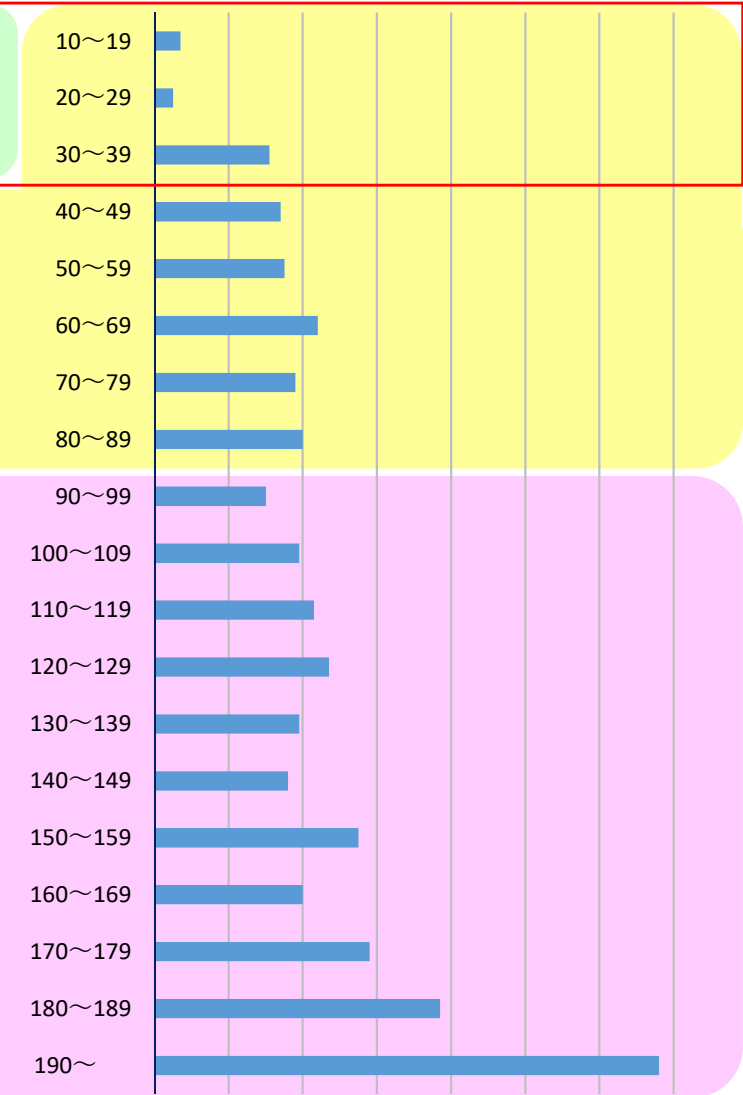
(欠席日数)



※登校すべき日数・・・約200日

【中学校】R4年度 不登校生徒数

(欠席日数)



※登校すべき日数・・・約200日

「やる気につながる好奇心」を実現する連携・協働体制の強化

- ▶ 岡山市教育委員会と岡山大学の強みを活かし、多様で複雑な教育課題の解決に向けて総合的にアプローチしていく教育施策・教育研究を促進する。
- ▶ 従来の専門領域の枠にとらわれない教育に関する理論と実践の「総合知」を創出していくとともに、それを基盤とした教育課題の解決やコンピテンシーベースの教職員の育成を実現する。

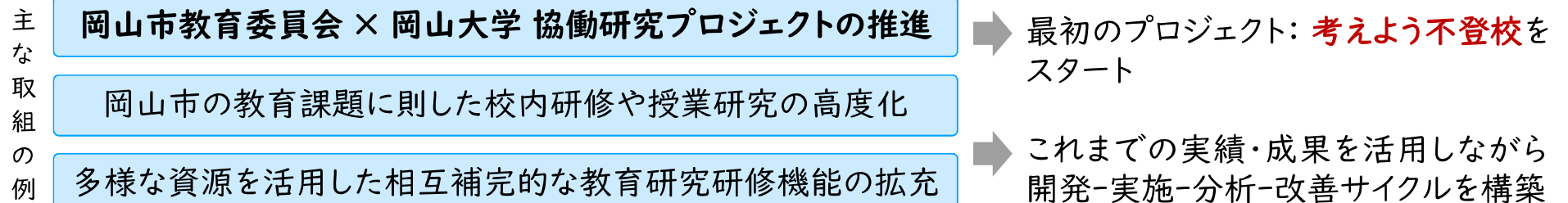
岡山市教育委員会

- 学びの環境を整え、地域に密着した学校づくりを推進するための権限・財源をもった政令指定都市
- 中学校区を単位とした岡山型一貫教育(縦のつながり)と岡山市地域協働学校(横のつながり)の形成
- 岡山市の教育課題に則した総合的な教育・研究・研修を行う新しい岡山市教育研究研修センターの整備 など

岡山大学 教育学研究科・教師教育開発センター

- 幼稚園、小学校、中学校(全10教科)・高等学校、特別支援学校の教諭と養護教諭を養成する拠点
- 初等教育・幼児教育から高等教育・成人教育を包摂した総合的かつ専門的な知見の蓄積
- 次世代を担う人づくり、学校づくり、地域づくりに貢献する先進的な教育研究(ESD・STEAMや地域教育等) など

岡山市教育委員会 × 岡山大学による相乗効果



令和4年度 不登校の状況

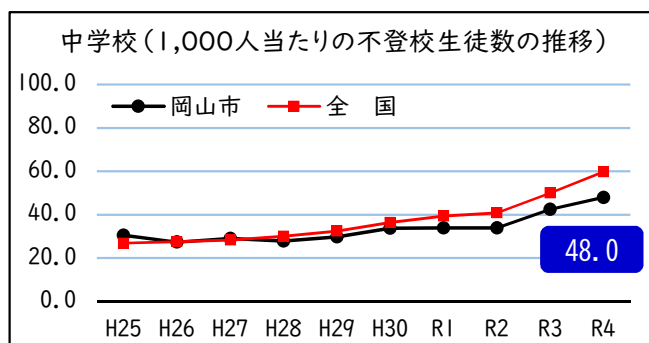
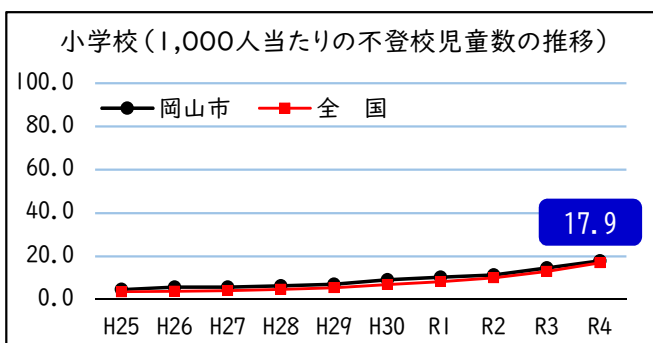
- 不登校児童生徒数が、小学校・中学校ともに増加した。
- 新規不登校出現率が、小学校・中学校ともに増加した。
- 1,000人当たりの不登校児童生徒数が、政令市の平均より下回っている。

(1) 長期欠席児童生徒数 ●1,000人当たりの不登校児童(生徒)数=不登校児童(生徒)数/全児童(生徒)数×1,000

小学校	長期欠席児童	理由別人数							1,000人当たりの不登校児童数		
		病気	不登校			新型コロナウイルスの感染回避	その他	岡山市	全国	政令市	
			90日以上欠席	出席日数10日以上	出席日数0日						
R2	845	92	422	207	41	10	178	153	11.4	10.0	10.9
R3	1,345	88	534	248	47	11	265	458	14.6	13.0	13.8
R4	1,569	116	651	346	74	13	97	705	17.9	17.0	18.2

中学校	長期欠席生徒	理由別人数							1,000人当たりの不登校生徒数		
		病気	不登校			新型コロナウイルスの感染回避	その他	岡山市	全国	政令市	
			90日以上欠席	出席日数10日以上	出席日数0日						
R2	1,073	248	587	426	122	25	147	91	34.0	40.9	46.4
R3	1,453	291	736	551	125	40	154	272	42.5	50.0	54.4
R4	1,594	345	822	601	157	46	96	331	48.0	59.8	65.0

※長期欠席児童生徒は、「出席停止・忌引き等」の日数も加えて計上



(2) 学年別不登校児童生徒数

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小合計	中1	中2	中3	中合計	小・中合計
R2	16	39	78	63	79	147	422	191	197	199	587	1,009
R3	33	54	61	120	122	144	534	196	297	243	736	1,270
R4	35	67	88	111	174	176	651	226	293	303	822	1,473

岡山市教育相談室のご案内

こんなときは相談してください



児童生徒のみなさん

- 学校に行きたくない...
- いじめられて困ってる...
- 友達とうまくいかない...

保護者のみなさん

- 子どもが不登校で悩んでいる。
- 児童生徒支援教室のことを知りたい。
- 学校のことで相談したい。

いろいろな相談方法があります

電話相談

来室相談の予約も受け付けています。児童生徒支援教室への入室についてもご相談ください。

来室相談

子ども、保護者、教職員等、どなたでもおいでください。子どもと軽スポーツをする等、活動を通じた支援を行っています。

訪問相談

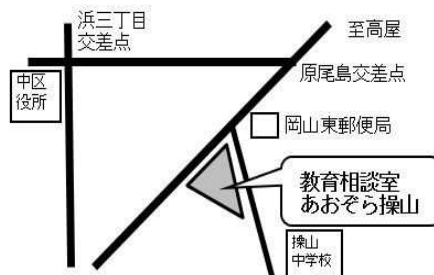
家に引きこもりがちな子どもの家庭に相談員が週1回程度訪問して、継続的に教育相談を行います。

専門相談

情緒面の発達に関する相談など、専門家による相談を行います。また、精神科医による医療相談も行っていきます。

相談は無料、秘密はかたく守ります。

岡山市教育相談室
(086)207-2170



岡山市中区国富三丁目9-12

岡山市立操山公民館 3階

(月)~(金) 9:00~18:30

(土) 9:00~16:00

※上記の時間外は留守番電話で

受け付けています。



詳しい情報は
ホームページをチェック！

いじめについての相談はこちらに

いじめの悩みごと等に対して、「いじめ専門相談員」が電話相談・面接相談・学校での出張相談を行っています。ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

いじめ相談専用ダイヤル
(086)803-1129

(月)~(金) 9:00~16:30

不登校児童生徒を支える会
【土曜ひろば】

相談員と一緒に、各自の興味に合わせて、軽スポーツや学習に取り組みます！

不登校児童生徒の親を支える会
【ふれあい親の会】

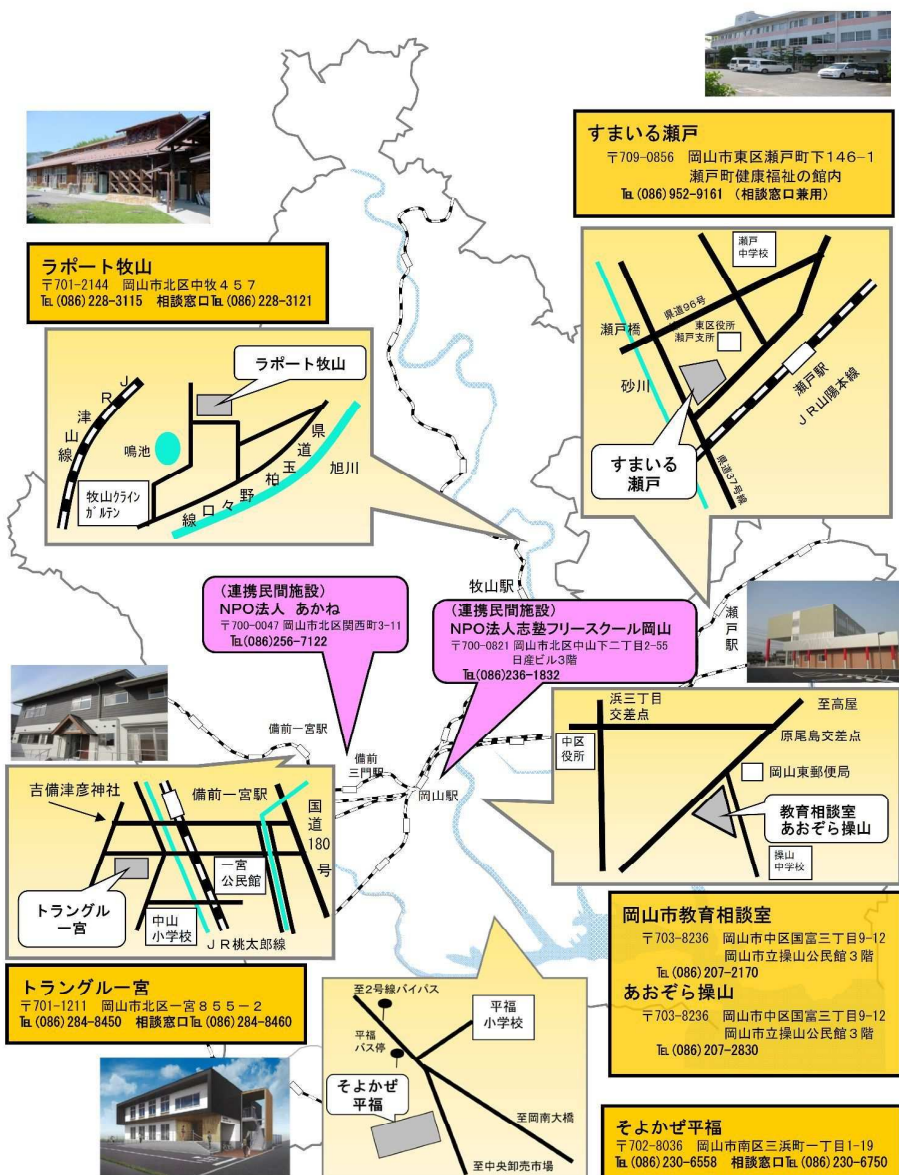
相談員と一緒に保護者の方々が気軽に話し合える場です。悩みや家庭での関わり方などを共有できます。申し込みなく参加できます。

毎月第4土曜日
13:00~15:00
事前の申し込みは必要ありません。
当日、直接お越しください。

児童生徒支援教室のご案内

市内に5室 設置しています！（左図参照）
 あおぞら操山、トラングル一宮、ラポート牧山、
 すまいる瀬戸、そよかぜ平福

岡山市教育相談室
 岡山市児童生徒支援教室の所在地



児童生徒支援教室ってどんなところ？

「学校に行きたいけど行けない」・「行きにくい」そんな悩みをもった岡山市在住の小・中学生を対象に、さまざまな体験活動や学習支援等の自立に向けた指導・支援を行っている施設です。



詳しい情報は
ホームページをチェック！

（支援プログラム例）

状況に応じて、様々な支援を行っています



家庭

個別支援

教育相談員・指導員との1対1による面談や活動

小集団活動

数人の児童生徒によるゲームや軽スポーツ等の活動

集団活動

10～20人程度の児童生徒による集団活動

学校
 社会

開室日と活動内容について

- 開室日 月曜日から金曜日（祝日を除く）
- 時間 10:00～14:30
- 活動内容
 - ・学習（個に応じた内容）
 - ・体験活動

1日の活動例

10:00～	朝のつどい
10:10～	学習I(50分)
11:00～	活動I(60分)
12:00～	昼食
12:50～	そうじ(10分)
13:00～	学習II(40分)
13:40～	活動II(50分)
14:30～	帰りのつどい

入室を希望される方へ（入室までの流れ）

手順①
 教育相談室または
 児童生徒支援教室の
 相談窓口にご相談

手順②
 面接による
 相談
 体験入室

手順③
 専門相談
 員による
 相談

手順④
入室



入室後も在籍している学校と連携して支援を行います。